

Mini-Mental State Examinaton (MMSE)

検査日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日 施設名： _____

氏名： _____ 男・女 生年月日：明・大・昭 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 歳

プロフィールは事前または事後に記入します。検査者： _____

得点：30点満点

質問と注意点		回答	得点			
1 (5点) 時間の 見当識	「今日は何日ですか」 「今年は何年ですか」 「今の季節は何ですか」 「今日は何曜日ですか」 「今月は何月ですか」	※ 最初の質問で、被験者の回答に複数の項目が含まれていてもよい。その場合、該当する項目の質問は省く。	日	0	1	
			年	0	1	
				0	1	
			曜日	0	1	
			月	0	1	
2 (5点) 場所の 見当識	「ここは都道府県でいうと何ですか」 「ここは何市（*町・村・区など）ですか」 「ここはどこですか」 (* 回答が地名の場合、この施設の名前は何か、と質問をかえる。正答は建物名のみ) 「ここは何階ですか」 「ここは何地方ですか」		0	1		
			0	1		
			0	1		
			0	1		
		階	0	1		
	0	1				
3 (3点) 即時想起	「今から私がいう言葉を覚えてくり返し言ってください。」 『さくら、ねこ、電車』はい、どうぞ * テスターは3つの言葉を1秒に1つずつ言う。その後被験者に繰り返させ、この時点で、いくつ答えたかで得点を与える。 * 正答1つにつき1点。合計3点満点。 「今の言葉は、後で聞くので覚えておいてください」 * この3つの言葉は、質問5で再び復唱させるので3つ全部答えられなかった被験者については、全部答えられるようになるまでくり返す。(ただし6回まで)		0	1		
			2	3		
4 (5点) 計算	「100から順番に7をくり返し引いてください」 * 5回くり返し7を引かせ、正答1つにつき1点。合計5点満点。 正答例: 93 86 79 72 65 * 答えが止まってしまった場合は「それから」と促す。		0	1	2	
			3	4	5	
5 (3点) 遅延再生	「さっき私が言った3つの言葉は何でしたか」 * 質問3で提示した言葉を再度復唱させる。		0	1	2	3
6 (2点) 物品呼称	時計(又は鍵)を見せながら「これは何ですか？」 鉛筆を見せながら「これは何ですか？」 * 正答1つにつき1点。合計2点満点。		0	1	2	
7 (1点) 文の復唱	「今から私がいう文を覚えてくり返し言ってください。」 『みんなで力をあわせて綱を引きます』 * 口頭でゆっくり、はっきりと言い、くり返させる。1回で正確に答えられた場合1点を与える。		0	1		
8 (3点) 口頭指示	* 紙を机に置いた状態で教示を始める。 「今から私がいう通りにしてください。」 右手にこの紙を持ってください。それを半分に折りたたんでください。そして私にください」 * 各段階毎に正しく作業した場合に1点ずつ与える。合計3点満点。		0	1	2	3
9 (1点) 書字指示	「この文を読んで、この通りにしてください」 *被験者は音読でも黙読でもかまわない。実際に目を閉じれば1点を与える。	2ページ目に 質問有	0	1		
10 (1点) 自発書字	「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」 *テスターが例文を与えてはならない。意味のある文章ならば正答とする。 (*名詞のみは誤答、状態などを示す四字熟語は正答)	2ページ目に 質問有	0	1		
11 (1点) 図形模写	「この図形を正確にそのまま書き写してください」 *模写は書くが10個あり、2つの五角形が交差していることが正答の条件。 手指のふるえなどはかまわない。	2ページ目に 質問有	0	1		

Mini-Mental State Examinaton(MMSE)

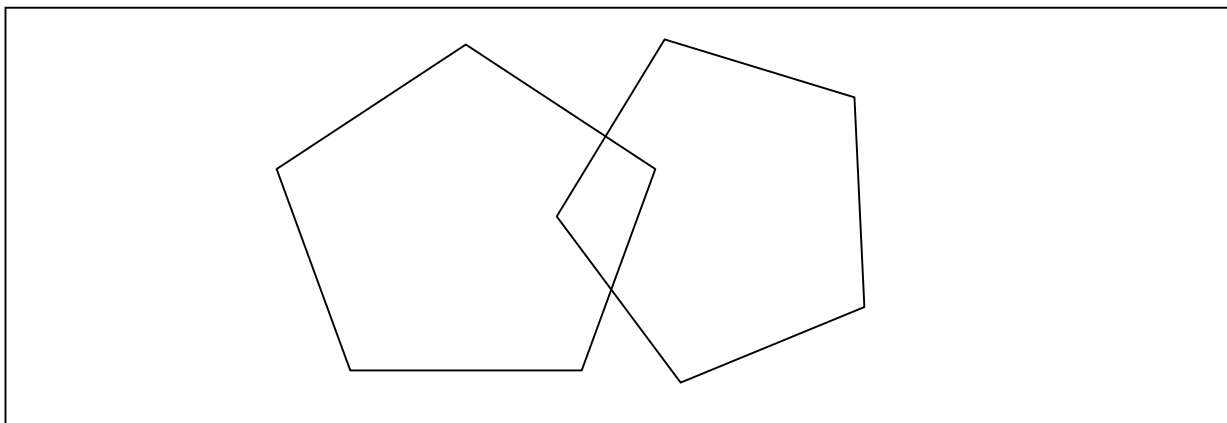
9. 「この文を読んで、この通りにしてください」

『^め目を^と閉じてください』

10. 「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」

()

11. 「この図形を正確にそのまま書き写してください」



Blank box for copying the figure.

MMSEの検査の具体的手技

《設問 1》

「今年は何年ですか」と聞きます。
何年については、「平成何年ですか」と聞いても、OKです。
正しい回答なら、言い直しても「正答」です。
次に、「今の季節は何ですか」、「今日は、何月何日ですか」、「今日は何曜日ですか」と、同様に聞きます。
なお、日については、一日でも間違っていた場合は、誤答とします。

《設問 2》

「この病院(診療所)の名前は何か」と聞きます。
正確な名称でなく、通称や略称でも正答です。
次に、「ここは何県ですか」、「ここは何市(何町)ですか」、「ここは何階ですか」、「青森県」は東北地方ですが、ここは何地方ですか」と聞きます。

《設問 3》

「これから言う3つの言葉を覚えてください。」と言った後、「桜・猫・電車」または「桜と、猫と、電車」と、1語ずつおよそ1秒間隔で言います。
耳が遠い人もおり、繰り返しが出来るまで、幾度も繰り返してください。
なお、6回繰り返しても3つの言葉を繰り返せない場合は、その時に言えた言葉の数を記入してください。
最後に、「今覚えた3つの言葉を後でまた聞きますので、覚えておいてください」と念を押してください。

《設問 4》

100から7を順に引く場合、まず「100から7を引いてください」と聞きます。
「93」と正解した場合は、「それからもう一度7を引いてください」と聞きます。
この場合、「93から7を引いてください」とは聞かないでください。
「86」と正解した場合は、「それからもう一度7を引いてください」と聞きます。
この場合も、「86から7を引いてください」とは、聞かないでください。
この質問の形で、7を連続5回引いていきますが、間違えた場合には、その時点で中止します。

《設問 5》

「先ほど覚えてもらった3つの言葉を、思い出してください」と聞きます。
順番は問いません。
また、「動物」、「植物」、「乗り物」などのヒントを与えても良いです。

《設問 6》

時計を見せながら、「これはなんですか」と聞きます。
次に、鉛筆を見せながら、「これはなんですか」と聞きます。
(これは、健忘失語または視覚失認の有無をみるもので、身の回りのものなら、他のものでもよいです)

《設問 7》

「次に言う文章を繰り返してください」と言ってから、「みんなで力をあわせて、綱を引きます」をはっきりと、また、ゆっくりと伝えます。
1回のみで評価します。
ひとつの言葉でも、言い間違えた場合は、誤答です。

《設問 8》

「私の言うとおりにしてください」と言ってから、「右手にこの紙を持ってください」と、相手の正面に紙を差し出します。
紙を右手で持ったのを確認したのち、「それを半分に折りたたんでください」と言います。
次に、紙を折りたたんだのを確認したのち、「私に渡してください」と言います。
途中で混乱した場合、そこで指示を中止します。
ただし、耳の聞こえにくい人の場合、指示を繰り返すことは問題ありません。
各段階ごとに正しく作業した場合、正答とします。(これらは失行の有無を見る検査です)

《設問 9》

「目を閉じてください」と書かれた仮名をふったボードを示し、「紙に書いてある言葉を読んでください」と言います。
被験者は音読でも、黙読でもかまいません。
正しく読んだことを確認した後に、「その動作をしてください」と言います。
実際に目を閉じれば正答です。
また、「字が読めない」などとして実施しなかった場合にも、誤答です。(これは、失読の有無を見る検査です)

《設問 10》

「何か文章を書いてください」と言い、鉛筆と白紙を渡します。
自分の名前などではなく、一つの文章(主語と述語が含まれるのがいいのですが、厳格にはしません)を書きように求め、正確に書けた場合に正答とします。
なお、実施しなかった場合には、誤答とします。(これは失書の有無を見る検査です)

《設問 11》

重なった5角形の図形の書かれた用紙を渡し、「同じものを書いてください」と言い、それを模写させます。
5角形が2つ一箇所で交差していれば、正答とします。
手指のふるえは無視してください。
六角形は誤答です。

採点・判定をしてみましょう。

27～30点
22～26点
21点以下

異常なし
軽度認知症の疑いもある
どちらかというとな認知症の疑いが強い